

長命時代

“しなやかに生きる力”を考える

「ライフプロデュース」研究会発足記念シンポジウム

日時：2018年3月3日（土） 14:00～16:30

場所：駒澤大学 第2研究館 209号室

参加費：一般1000円 学生（社会人を除く）500円

◆司会：皆川 鞆一（当学会理事、研究会座長）

◆報告者：小平陽一（当学会会員）
中村昌子（当学会運営委員）
森木まゆみ（当学会会員）

◆コメンテーター：澤岡詩野（当学会理事）



澤岡詩野



小平陽一 皆川鞆一 中村昌子 森木まゆみ

シニア社会学会に、新しい研究会が誕生した。離職や退職、子育て修了後、「人生100年時代のライフプロデュース」には何が必要かを計5回にわたり集中論議。そこで抽出された、3つのキーワードが「自立」と「共生」、この二つのテーマを包括する形での「共（響）感」である。

■自立

人生100年時代の超高齢社会では、男女ともに、介護や看護、離職や退職、離別や死別に対応できる柔軟な危機管理能力が求められる。また、生涯未婚率、単身者世帯率も上昇し、家族の在り方、パートナーシップの在り方も多様に変容している。そうした時代背景の中、「頼り合える社会」の基本として、「個々人の自立度＝生き抜く力」が益々必要な時代となってきた。

年齢が増すに従い、特に男性の「生活の自立」が今、重要視されている。性別役割分業から解放された男女の関係性、「大人の為の生活学」を共に学んでいきたい。

■共生

「格差社会」「分断社会」と言われる現代社会—多様な人々が「共生」できる身近な「居場所」の創出の仕掛けが必要であり、そこでは、シニア層の経験値を生かした活力が推進力となり得る。

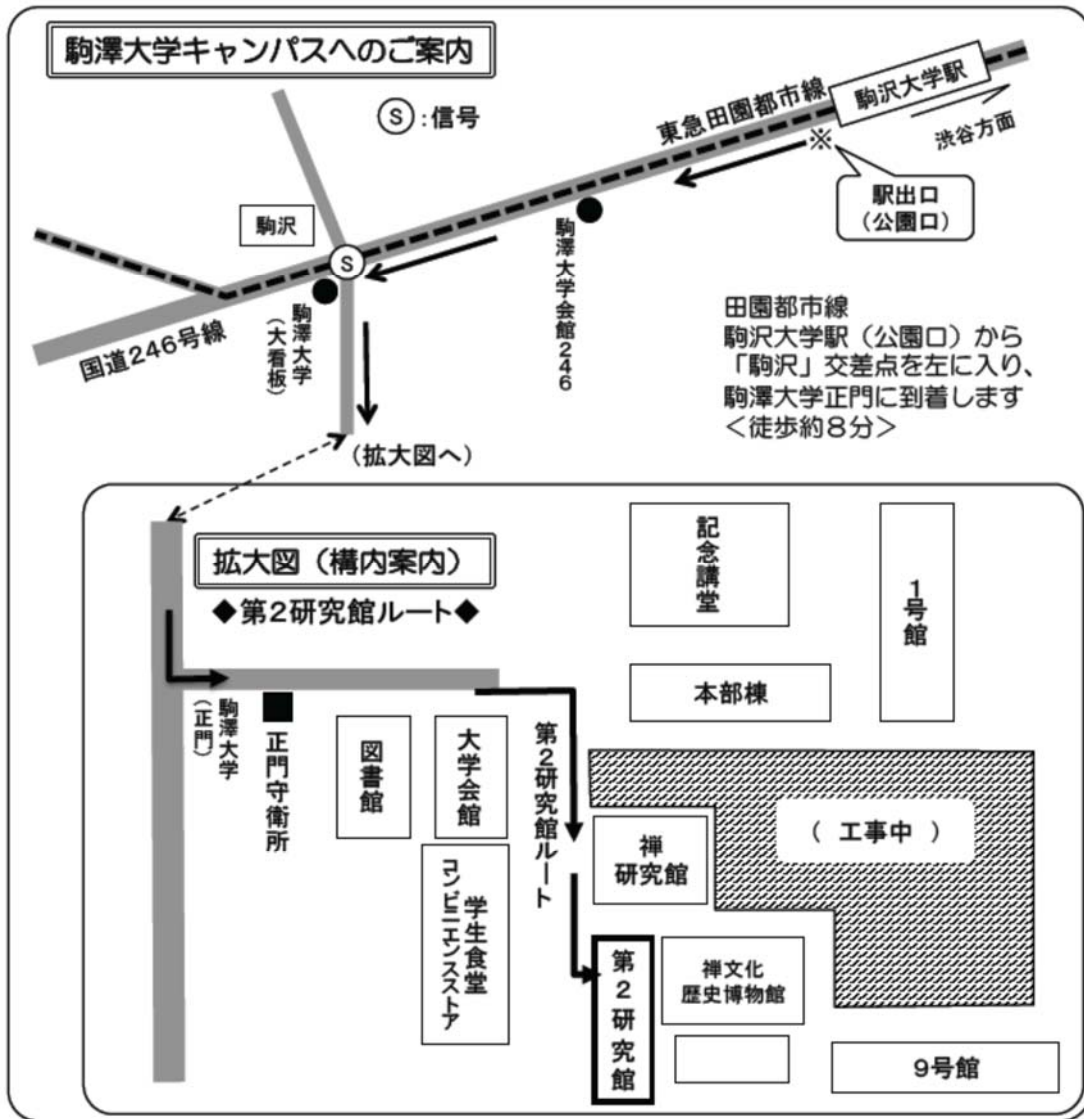
過去の共生の在り方を検証しつつ、現在の共生の場の具体例を観ることで、未来の共生の在り方についても思いを馳せ、意見を交わせる場を目指したい。

■共（響）感

自立した多様な個々人が共生し、プラットフォーム（架け橋）となることも、この新研究会の目指すところである。その基本となるのが「コミュニケーション能力」といえる。「エイジフリー社会」「多世代協働の場」の創出を目指すためには、それぞれの世代の生きてきた時代背景を学び合い、共感し、相互理解し、心が響き合うことが肝心だ。

コミュニケーションアップに繋がるヒントや秘訣をご紹介していきたい。

人生100年時代のライフプロデュースは、ChallengingにAgingする多様なモデルをシニア世代が率先して主体的に示し、次世代に希望を繋ぐことが必要です。今回参加された皆様が、身近なところで新たな一歩を踏み出し、チャレンジする、お役に立てればと願っております。多数の方のご来場をお待ちしております。



第4回研究会合同シンポジウム「長命時代 “しなやかに生きる力”を考える」開催概要	
主催研究会	「ライフプロデュース」研究会
日時	2018年3月3日(土) 14:00~16:30 (開場は、13:30)
会場	駒澤大学 第2研究館 209号室
参加費	一般1000円、学生(社会人を除く)500円(当日、会場受付にてお支払いください)

申し込みは、下記項目ご記入の上、FAXまたはeメールにてお申し込みください。

氏名		会員・非会員・学生 (いずれかお選びください)
連絡先(電話)	電話:	
連絡先(email)	eメールアドレス:	
非会員の方は ご住所を		

一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン 10:00~16:00)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX: (03) 5778-4728
e-mail: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>

